



Inatsu Kayoko

Minohara Yoshimitsu

介護老人保健施設  
からぎステーション  
施設長  
稲津佳世子  
いなづかよこ

九州大学医学部卒。内科、心療内科医として臨床経験を積んだのち、福岡空港検疫所を経て九州大学医療専門職大学院に進学。医療ネットワーク学講座、医療システム学教室で医療者と患者・市民の懸け橋となる人材養成を研究。認知症等の訪問診療クリニック等を経て、福岡病院精神科で統合失調症や精神科一般について研鑽を積んだ。2021年4月よりからぎステーション施設長に就任。

理事長  
三野原 義光  
みのらは よしみつ

埼玉医科大学卒業。福岡大学医学部精神医学教室入局、西園昌久名誉教授に師事し力動的な精神療法・精神科リハビリテーションを学ぶ。福岡病院、いぬお病院を経て1996年福岡大学医学部精神医学教室助手。1999年油山病院医局長、2002年油山病院院長、2007年医療法人涇江堂理事長就任、油山病院院長を兼務し精神科急性期および精神科救急病棟を導入。2020年4月より理事長職に専念。

残念なこと、昨年より新型コロナウイルス感染症拡大のため地域活動やデイケア、患者さん家族との面会などさまざまな制限を設けざるを得ず、歯がゆい思いをしていますが、一日も早く再開できるよう努力いたします。よろしくお願いたします。

油山病院に隣接する当施設は、開設時より地域に開かれた施設として、高齢者とご家族、病院と地域をつなぐ「からぎ」になることを目指してまいりました。2000年には介護保険において「中間施設」である介護老人保健施設となり、文字どおり医療と介護、地域と医療機関、高齢者とご家族、それぞれを「中間」として支える役割を担ってきました。

4月より介護老人保健施設からぎステーションの施設長に就任いたしました。からぎステーションは2000年に始まる介護保険制度に先駆け、1997年10月1日に油山病院を母体とした認知症専門の老人保健施設として開設されました。「からぎ」とは、漢字では「殻座」と書かれることもありませんが、ラテン語「Catalpa」を起源とする英語で、卵の黄身を支える紐のような部分を指します。からぎには白身から黄身に栄養を送ったり、大切な黄身が傷つかないようバランスをとったりと、見た目は地味ですが、大切な役割があります。

施設長 稲津佳世子

医療法人涇江堂  
介護老人保健施設からぎステーション

## 就任ご挨拶

ぜひ中面もご覧ください。

## からぎステーション INFORMATION



### 施設の特徴

- 1 公的な介護施設で、初期費用がなく、月々の費用負担も少なく済みます。
- 2 常勤医師をはじめとする各専門職が多角的にサポートを行います。
- 3 認知症専門リハビリテーションの実績があり、認知症予防にも力を入れています。

### サービス内容

- 入所・短期入所(ショートステイ)  
要介護認定を受けられた方で病状が安定した方にご利用いただけるサービス。ご入所中にリハビリテーションやレクリエーションを通じ、在宅で自立した生活ができるよう支援しています。「短期入所」の枠は2床あります。
- 通所リハビリテーション(デイケア)  
在宅で生活している高齢者の日常生活の自立を助けるために必要なリハビリテーションを行い、心身機能の維持回復を図るサービスです。
- いきいき倶楽部(短時間デイケア)  
要支援1、2および要介護1程度の方を対象とした午前中2時間程度の短時間通所デイケアです。認知症予防・軽度認知障害(MCI)の改善に適したプログラムや体操などを行います。

### 施設概要

施設長	稲津佳世子
事業形態	精神科病院併設 認知症対応型介護老人保健施設
総床面積	4,100㎡
定員	入所定員80名(短期入所含む) 認知症専門棟40名・一般棟40名、通所定員40名
設備	療養室(居室)、機能訓練室、食堂、特殊浴槽1台、送迎車輛8台(うちリフト車1台、スロープ車2台)、家族介護教室、研修室

### いろいろなりハビリテーション

- 認知症短期集中リハビリテーション
- 身体リハビリテーション
- 生活リハビリテーション

### ■シナプソロジー



シナプソロジーとは、2つのことを同時に行ったり左右異なる動きをしたりすることで、楽しく脳を刺激して認知機能を向上させるプログラムです。当法人はシナプソロジー研究所の法人会員です。

- くもん学習療法
- 回想法、いろいろな作業療法
- アニマルセラピー
- 光療法
- 車いすシーティング

(注)コロナ感染防止のため、現在実施を見合わせているプログラムもあります。

### 職員体制

2021年4月1日現在

- 医師(常勤)1名 ●看護職員10名(看護師6名、准看護師4名)
- 作業療法士7名 ●理学療法士1名 ●介護職員30名(うち介護福祉士26名)
- 管理栄養士1名 ●薬剤師1名 ●支援相談員4名 ●介護支援専門員1名 ●事務職・その他2名 合計58名



介護老人保健施設  
からぎステーション

〒814-0171 福岡市早良区野芥5-6-38  
TEL.092-871-8778 FAX.092-863-2782



精神科・内科  
油山病院  
精神保険指定 応急入院指定

〒814-0171 福岡市早良区野芥5-6-37  
TEL.092-871-2261  
FAX.092-863-2641

許可病床数 280床  
診療科目 精神科・内科  
専門外来 もの忘れ外来(診療日:毎週火・水曜日)  
診療時間 平日 9:00~12:30 13:30~17:00  
土・日曜日・祝日 年末年始 休診(急患対応可)

詳しくはWEBで

医療法人涇江堂報誌「みんなんだよりPlus」  
2021年6月発行 発行・編集/医療法人涇江堂

## 老健は地域における 認知症ケアの中核拠点

司会 ■ 稲津施設長はさまざまなご経歴をお持ちとお聞きしました。お話しただけですか。  
稲津 ■ はい。心療内科医の経験を経て、九州大学の医療ネットワーク学講座や医療システム学教室で医療者と患者・市民の円滑な結びつきやコミュニケーションを促進する研究活動に携わってまいりました。その後は精神科医療の分野への学びを深めるために認知症の訪問診療所や精神科病院にも勤務しました。

このたび介護老人保健施設に勤務することになり、あらためて老健は地域包括ケアシステムの中核拠点（中間施設）であることを認識しました。これまで、私は「中間」でいろいろなことを結びつける役割を果たしてきました。この経験を活かせることに運命を感じ、使命感をもって地域の高齢者福祉や医療の向上に努めてまいります。

理事長 ■ 地域社会の方々と医療機関・介護施設などの架け橋として、ぜひこれまで以上に活躍していただきたいと思います。

さて、認知症については昨今さまざまなかたちで啓蒙されているにもかかわらず、どなたもお身に認知症の症状が現れたりすると大変揺さぶられますね。身近な方の発症が初めての場合、その困惑は無理からぬことです。

そのような時に、地域の身近な相談窓口として油山病院や介護老人保健施設からご支援をお願いしていただけるように日頃

から関係づくりに一層力を注ぎたいと考えています。

## 介護の 「デイズニールランド」を目指す

司会 ■ 理事長、介護老人保健施設の特徴について簡単に説明ください。

理事長 ■ 介護老人保健施設は公的施設のひとつで、初期費用もなく、月々の費用負担が比較的少なく済みます。特徴は、リハビリテーション施設として心身の機能維持・回復に当たっていることです。常勤医師がおり、看護職員・介護福祉士・作業療法士・理学療法士・薬剤師・管理栄養士など多くの専門職が

さまざまな角度で日常生活をサポートする体制を整えています。

司会 ■ 最もアピールされたいことは。

稲津 ■ 当施設は他の施設では受け入れが難しいと判断された認知症の方にも対応できるほど介護スタッフのレベルが高いと自負しております。つい先日も帰宅願望が強い方に、職員が「今お帰りになったら、私が寂しくなるから、もう少し居てくださいね」と優しくアイメッセージを送っている様子を見て胸が熱くなりました。

職員へは「スピーチロック（言葉による抑制）」に関する研修も行われています。なかには「日本一の介護を目指す」と豪語する職員もいて頼もしい限りです。



心療内科医、精神科医、日本医師会認定産業医、日本社会医学系専門医、日本社会医学系指導医、福岡市ひとり親支援センターこころの相談員

介護老人保健施設  
からぎステーション 施設長

稲津 佳世子

## ハイレベルな介護で、 中核拠点の責務を果たす。

※「私」を主語にして伝えるメッセージ。  
お互いを尊重した会話が可能になると言われている。

### 運営理念

- 利用者に愛情のこもった接遇と医療に努め、健やかな生活を提供します。
- 利用者の尊厳を守ります。
- 常に家族と語り合い信頼と安心を生むサービスを提供します。
- 地域の福祉と保健の向上に努めます。
- 職員は精神と身体の健康に留意し人格の向上に努めます。

からぎステーションの「からぎ」とは卵の黄身をささえる「からぎ」。「からぎ」は黄身と白身の良好な関係を保つ大切な役割を果たしています。私たちスタッフは大切なお年寄りとご家族の皆様との温かい心をつなぐ「からぎ」になりたいという思いが込められた施設名です。

## 対談



医療法人浜江堂 理事長

三野原 義光

精神科医、精神保健指定医、日本精神科医学会精神科臨床専門医、日本精神神経学会精神科専門医、日本精神神経学会精神科指導医、福岡産業保健推進センター産業保健相談員、認知症サポート医、福岡市精神医療審査会委員

もちろん現在は感染対策が一番ですが、夢は「からぎステーション」を「介護のデイズニールランド」にすることです。それはご利用者・ご家族も職員も楽しんで、ともに喜びを感じることができる場づくりという意味で考えています。

## 精神科病院と老健施設、 地域のお役に立つために

司会 ■ 「からぎステーション」は油山病院併設の施設としてどのような役割を果たしますか。  
理事長 ■ そうですね。一般的に認知症の周辺症状がある方について、精神科のコントロールができない場合は退所いただくしかないとい

う話もよく耳にしますが、介護老人保健施設からぎステーションでは精神科の油山病院との連携もあり、ハイレベルな介護力です。方々に在宅復帰していただけることが期待できます。稲津施設長は精神科医でいらっしゃるのですが、そういうケースに対応できる強みですね。

稲津 ■ 先ほど老健は中間施設であることを申し上げましたが、まさに「ご自宅に帰れる希望がある施設」なのです。お一人お一人責任をもってお預かりして、軽度〜重度の認知症の方までしっかりリハビリテーションを行い、「（ご自宅に）お戻りいただきますよ」というスタンスです。

実際の在宅復帰はそう容易ではありませんが、一度はご自宅に戻っていただいたり、逆に施設で看取ったり、その方にふさわしい人生の選択に寄り添えるような施設でありたいと思います。

司会 ■ 理事長、地域の医療機関の方へ一言。  
理事長 ■ 精神科はハードルが高いというイメージはまだ根深いのですが、地域の先生方には、高齢者の精神症状については当院のような精神科救急・急性期治療における迅速な対応で症状を緩和していただくことも選択肢のひとつとしてお考えいただければと思います。症状が改善したら、からぎステーションのようなリハビリ施設で短期集中リハビリテーションを受けられることもお勧めです。

今や高齢者の認知症など精神疾患の分野において、最新の精神科医療は欠かせないものです。ぜひ、私どもをご活用いただきたいと思います。



## 稲津 佳世子 ふだん着の私

趣味は……生活の細々したことを工夫することです。手芸や工芸、大工仕事など手先を動かすことが好きです。

健康維持のためにしていること……できるだけ歩くこと、野菜や魚を食べること、瞑想

お休みの日は……溜まった家事をこなしたら、ポーっとしていることが多いです。断捨離を心がけていますが、まだまだです。コロナのためなかなか友人に会えず、人混みしそうな場所にも行けないのが残念です。

今一番やりたいこと……遠方にいる孫と遊びたい。写真や動画で辛抱しています。

（対談開催日 2021年4月23日）